日本マネジメント学会機関誌『経営教育研究』執筆要領

１．原稿は，必ず投稿規程に則って作成し，章の前後，節の前には必ずそれぞれ１行の空白行を設ける。

２．＜注＞および＜参考文献＞は文末とし，9 ポイントＭＳ明朝（英数字 century）とする。

３．＜注＞は，本文末に一括してまとめ，本文中の該当箇所の肩にアラビア数字・括弧の通し番号＜

(1)(2)(3)……＞を付与すること。

４．＜注＞は，出所を示すためには使用せず，本文の内容を補足・解説する時にのみ使用する。

５．本文中で参考文献を引用する場合には，括弧内に著者名と年号をアラビア数字で記入する。

例示：（山城，1964）

６．外国語文献の著者が２名の場合は連記する。3 名以上の場合は ʻet al.ʼ をつける。人名のカタカナ書きはしない。

例示 A：（Crossan & Apaydin, 2010）

例示B：（Dicke et al., 2003）

７．頁数表記の場合は次の通りとする。

例示: （山城，1964：30）

８．翻訳書を使用する場合は次の通りとする。

例示: （Schumpeter, 1926, 訳書：33）

９．コメント，助言，研究資金等への謝辞で後＜注＞にするには適当でないものは，本文の後，＜注＞の前に謝辞として，アステリスク（\*）をつけて記述する。

10．本文の引用・参照箇所を示す場合は，本文の引用・参照箇所の最後に括弧で著者の姓，刊行年（西暦），該当頁を記入して，出所を示す。

例示Ａ：山城は，「○○○○○○○○○○」と述べている（山城，1964：54）。

例示Ｂ：○○○○○○○○○○○○○○○については既に検証されている（森本，2005 : 24）。

1. 本文の引用・参照箇所の出所のみを示す場合は次の通りとする。

例示Ａ：○○○○○○○○○○○○○○○（森本，2005：24）。

例示Ｂ：○○○○○に関する先行研究には，山城（1964），森本（2001）などがあげられる。

1. <参考文献＞は，同一著者の論文・著書等は刊行年順とし，同一年に同一著者の論文・著作等が刊行されている場合には，「1999a」のように年号の後にアルファベットで順序をつけて区別すること。

1. 文献の表記は，基本的には和図書，和雑誌（論文），洋図書，洋雑誌（論文）の順序とする。

1. 和図書の表記は次の通りとする。

著者（発行年）『タイトル』発行所。

例示Ａ：小椋康宏（1984）『経営財務（増補版）』同友舘。

例示Ｂ：小椋康宏編（2002）『経営学原理（第二版）』学文社。

1. 和図書の単行本の中の 1 章の表記は次の通りとする。

著者（発行年）「章のタイトル」編著者『タイトル』発行所。

例示：小椋康宏（2014）「第１章 日本企業の経営力創成と経営者教育モデル」東洋大学経営力創成研究センター編『日本企業の経営力創成と経営者・管理者教育』学文社。

1. 和雑誌（論文）の表記は次の通りとする。

著者（発行年）「論文タイトル」『雑誌名』○（○），発行所：○-○。

例示：小椋康宏（2008）「マネジメント・プロフェッショナルの理念と育成」『経営教育 研究』11

（1），学文社：1-13。

1. 洋図書の表記は次の通りとする。

著者（発行年），タイトル， 発行所。 タイトルはイタリック体で書く。訳書が出ている場合には（ ） 内に訳書も書く。

例示 A：Robbie, K. and M. Wright (1996) *Management Buy-ins: Entrepreneurship, Active Investors*

*and Corporate Restructuring*, New York: Manchester University Press.

例示B：Schumpeter, J. A. (1926) *The Theory of Economic Development: An Inquiry into proﬁts, Capital, Credit, Interest, and the Business Cycle*, Harvard University Press. （塩野谷祐一・中山伊知郎・東畑精一訳（1977）『経済 発展の理論：企業者利潤・資本・利子および景気の回転に関する一研究』岩波書店。）

本文での翻訳書からの引用表示：（Schumpeter, 1926, 訳書：33）

1. 洋図書の単行本の中の 1 章の表記は次の通りとする。

著者 (発行年) “章のタイトル,” In 本のタイトル, 編集者 (ed. / eds.), 発行所. （本のタイトルはイタリック体で書く）

例 示 ：Cottle, R. W. and G. Infanger (2010) “Harry Markowitz and the early history of quadratic programming, ” In *Handbook of Portfolio Construction*, Guerard, J. B. (ed.), New York: Springer.

1. 洋雑誌（論文）の表記は次の通りとする。

著者 (発行年) “論文タイトル,” 雑誌名, ○ (〇), pp. ○-○. （雑誌名はイタリック体で書く）

例示：Wright, M., Thompson, S., Robbie, K., and P. Wong (1995) “Management Buy-outs in the Short and Long Term,” *Journal of Business Finance and Accounting*, 22 (4): 461-482.

付則 本規定は 2009 年６月 28 日から施行し、2024 年 9 月 14 日から改定実施する。